

● 関連する制度一覧

制度名	内 容	利 用 す る に は	問 い 合 わ せ 先
介護保険制度	住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための制度です。40歳以上の方が加入者となり、保険料を納め、介護が必要になった時には、費用の一部を負担することで介護保険サービスを利用できます。	高齢障がい課介護保険係または担当の地域包括支援センターで申請を行ってください。	高齢障がい課 介護保険係 03-3430-1262 地域包括支援センター (12ページ参照)
医療費控除	医療費の一部を所得から控除できる場合があります。	確定申告を行ってください。	武蔵府中税務署 042-362-4711
高額療養費・高額介護サービス費 高額医療介護合算療養費	一定額を超える医療費、介護サービス費を支払った時は、費用の助成を受けることができます。	該当する場合は、市から申請書を送付します。	医療費 加入している公的医療保険の窓口にお尋ねください。 <国民健康保険の方> 保険年金課 国民健康保険係 03-3430-1271 <後期高齢者医療制度の方> 保険年金課 医療年金係(後期担当) 03-3430-1269 介護サービス費 高齢障がい課 介護保険係 03-3430-1262
自立支援医療費制度 (精神通院医療)	精神医療(認知症を含む)を続ける方の通院医療費などを、軽減できる場合があります。該当するかどうかは担当医にご確認ください。	高齢障がい課障がい者支援係で申請を行ってください。	高齢障がい課 障がい者支援係 03-3430-1249
難病医療費助成制度	国が指定する難病(前頭側頭葉変性症など)の方に対して、該当する疾患に関わる医療費を助成する制度です。該当するかどうかは担当医にご確認ください。		

● 関連する資料一覧

資料名	イメー ジ	内 容	市の担当部署	配布場所
狛江市生き活きノート (介護予防手帳保存版)		介護予防に役立つ市内の活動場所、活動拠点、生活支援サービス、地域包括支援センターなどの情報をまとめたものです。		
狛江市エンディングノート		市と「NPO法人狛江共生の家」が協働作成したオリジナルノートです。 「わたしについて」「もしものときは」「エンディング」などについて書き留めることができ、相談・手続き先一覧も掲載されています。	高齢障がい課 高齢者支援係 03-3430-1251	狛江市役所 2階 高齢障がい課 地域包括 支援センター (12ページ)
シルバーガイドブック 狛江市		相談窓口、生きがい・介護予防活動、見守り・サービス、認知症支援、住まいなどの高齢者に関わる情報を紹介した手引きです。		こまほっと シルバー 相談室 (12ページ)
みんなのあんしん 介護保険		サービス利用の手順、介護(予防)サービス、地域支援事業、介護保険料など介護保険制度全般をご紹介した手引きです。	高齢障がい課 介護保険係 03-3430-1262	

● 引用資料

本誌 10、11 ページ

《出典：東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課「知って安心認知症」(平成30年12月発行)、5・6 ページ》

本誌 22 ページ

《出典：公益社団法人認知症の人と家族の会『『認知症』の人のために家族が出来る10か条』》

わたしたちにぜひご相談ください
 ~支援者からのメッセージ~

認知症連携会議メンバーの皆さんより

認知症のある方とご家族の
 一人一人のお気持ちに寄り添い
 支える力になりたいと思います。
 慈恵会医科大学 看護学科
 梶井文子

一人で抱え込まないで
 ほしいと思います
 白河市医師会訪問看護ステーション
 Yアパスイー 遠藤由紀子

ご本人、ご家族の困り事、
 心配な事等に、何が出来るか
 一緒に考えていきましょう。
 訪問看護ステーションこまえ正吉苑
 看護師 羽生佐和江

あきらめないで
 でも…
 がんばりすぎないで。
 岩下医院 岩下達雄

家族だけでなく地域でお手伝い
 出来ることが何かあるかもしれません
 是非ご相談下さい
 慈恵医大 医師

ご本人らしい、ご家族らしい生活を
 支えるために、地域の皆さんとともに
 病院も力になりたいと思っています。
 ご家族ご自身も大切に、困ったときは
 どうぞご相談ください！
 慈恵医大第三病院 ソーシャルワーカー

わたしらしく暮らせるために
 お手伝いします。
 どんな事でも、ご相談ください！
 あいとぴあ
 地域包括支援センター職員一同

心配や不安なことを誰かに
 話したら、ほんの少し…気持ちも
 やわらかくもかもしれません。
 こちらへお声をかけてみて下さい。
 地域包括支援センター(相談窓口)
 こまえ正吉苑 職員一同

包括は生活の相談が“できる
 場所”です。お電話でも来所でも
 大丈夫。一緒に考えますので”
 声をかけて下さい！”
 地域包括支援センター
 こまえ苑一同

同じ地域のサポーターとして
 どのようなことでも一緒に考えたい！！
 いっしょにご相談下さい。
 Yアパスイー MIRAI
 訪問介護みらい
 職員一同

市役所に行けば何か出来る
 そんな相談窓口的な
 目指しています
 福祉相談課長

地域にはたくさんのお支え者
 がいます。悩んだら電話
 を聞いてほしいと何日も
 話し下したい。
 白河市高齢者福祉課 課長

〈認知症の人本人からの発信〉

◆認知症とともに生きる希望宣言（一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ）

私たちは、認知症とともに暮らしています。

日々いろんなことが起き、不安や心配はつきませんが、いろいろな可能性があることも見えてきました。

一度きりしかない自分の人生をあきらめないで、希望を持って自分らしく暮らし続けたい。次に続く人たちが、暗いトンネルに迷い込まずにもっと楽に、いい人生を送ってほしい。

私たちは、自分たちの体験と意志をもとに「認知症とともに生きる希望宣言」をします。

この宣言をスタートに、自分も希望を持って暮らしていこうという人、そしてより良い社会を一緒につくっていこうという人の輪が広がることを願っています。

認知症とともに生きる希望宣言

1. 自分自身がとらわれている常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。
2. 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
3. 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
4. 自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、身近なまちで見つけ、一緒に歩いていきます。
5. 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、暮らしやすいわがまちを一緒につくっていきます。

2018年11月

●認知症本人大使「希望大使」を知っていますか？

認知症の人本人が自らの言葉で語り、認知症になっても希望を持って前を向いて暮らすことができている姿勢などを積極的に発信しています。興味がある方は、厚生労働省「認知症本人大使『希望大使』」「認知症の人からのメッセージ動画」をご覧ください。

「本人にとってのよりよい暮らしガイド」 一足先に認知症になった私たちからあなたへ

東京都健康長寿医療センターが、日本認知症本人ワーキンググループとともに制作した本人向けの応援冊子です。無償で配布していますので、ぜひお読みください。

【配布場所】

- ・市役所
- ・地域包括支援センター
- ・こまほっとシルバー相談室
- ・慈恵医大第三病院



～認知症の方とご家族によりそい、地域で支えあうための～
〈改訂版〉狛江市認知症あんしんガイド(狛江市認知症ケアパス)
刊行物番号 R3-50 無償

発行 令和4年3月
東京都狛江市福祉保健部高齢障がい課高齢者支援係
狛江市和泉本町1-1-5 ☎03-3430-1111(代表)